

私と木下葉局さんとの出会いは八年前地元福岡に戻ってくる際に私自身がアレルギー体質の為自然の化粧品しか合わずその化粧品を取り扱っていらっしやるのが木下葉局さんでした。化粧品だけの縁でしたが暫くして松寿仙の事を知りました。その時私も五十半ばでしたが先で寝たきりの生活は嫌だなあ。その為迷惑かけるのも心苦しいので予防として松寿仙を飲み始めました。女性に特に不足しているカルシウム(ササカル)と一緒に飲み始めるに当り主人にも進めてみました。が全くの無関心の中だけでは一緒に飲めばいいのにと思いましたが無理じいはしませんでした。その主人が昨年七月に腹部の痛みを訴え診断の結果悪性リンパ腫と告知されました。青天の霹靂で

一瞬気が遠くなりました。八月末に開腹手術をして  
抗ガン剤を決め三週間おきに半年かけて六回の抗ガン  
剤投与です。八月九月と二ヶ月間入院しその後は自宅療  
養の形で治療に通いました。入院するに当り担当医からは  
厳しい注意を受けました。漢方薬等は治療中は絶対  
飲まないようにと、それでも飲んでる人はいらっしゃるようですが  
入院してる間は主人もいやだと言うので先生の言われるように  
してました。只、抗ガン剤・何十種類もの薬それを見ただけ  
でもかなり肝臓に負担がかかっているし、絶対体に良い事  
はないなと素人考えですがそう思いました。十月に入り  
退院するとそれから毎日、日水清心丸・瑞芝・紫華棠  
をしつかり飲ませました。一番大変だったのは皆さんご存知

のように副作用で食欲がなくなる事です。何とか苦勞しながら食べた、物を捜し持て行ったりしました。

殆ど口にしてないようでした。売店でアイスクリームやパンを買って食べてたようです。只、主人の場合、一度も吐気がなかった事が本当にラッキーでした。最後の抗がん剤投与が終り、二月にPETCTをとりました。お陰様で腫瘍が消えてました。只、頻繁に再発するみたいです。今からが本当の闘病かも判りません。振り返ってみますと八ヶ月間ずっと家で療養してましたが五回、六回目、抗がん剤投与の後は流石にきつそうでしたが別に布団に寝てる事もなくテレビや新聞を見たりして過してました。五月頃位から本格的に庭木の手入れやお花作り、ゴルフ

の打ちっぱなし等殆ど昔の生活に戻ってきたようです  
と言ってもまだ口の中のみびれや体調は今一つです  
まだ白血球が二二〇〇〇〜二五〇〇と少ないので感染防止の  
為外出はできるだけ控えています。段々元氣になれた  
のも先生方の努力もあったと思います。漢方薬の  
お陰だと私は信じております。今は経済状態の事  
もあって一日三回松寿仙に紫華棠を混ぜてしつかり  
飲んでます。主人共々六十才を過ぎましたのでこれから  
は余り人に迷惑心かける事なく人生を全う出来る  
よう願う毎日です。木下葉局さんにはいろいろ相談にも  
のって頂き又、情報やアドバイス、良心的なご指導等を  
賜りました事、心より感謝申し上げます。